

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ネオライフ樟葉マンション建替え事業	階数	地上15F
建設地	大阪府枚方市樋之上町	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	312 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年3月15日
敷地面積	2,106 m ²	作成者	土居 文也
建築面積	656 m ²	確認日	2018年3月20日
延床面積	7,068 m ²	確認者	土居 文也



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 71% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 71% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 71% (92 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 建替マンションとして断熱性能の向上とエネルギー消費の高効率化・長寿命化の為の取組を行い、住民にとって住まうことのメリットを感じられる建物を目指しました。		その他
Q1 室内環境 マンションとしての住環境への一般的な配慮の他に住戸部分において温熱環境の向上を図った配慮(住宅性能評価省エネ対策等級「4」取得予定)を行っています。	Q2 サービス性能 住宅性能評価構造躯体劣化対策等級「3」取得予定とするなど、建物の耐久性に対する配慮を行っています。	Q3 室外環境(敷地内) 落ち着いた外観・色彩計画及び敷地内に公園・緑地帯を確保するなどの配慮を行っています。
LR1 エネルギー 住戸部分において、住宅性能評価の省エネ等級「4」の取得(予定)や、専用部、共用部においてLED照明を全面的に採用するなど、省エネルギー化に対する配慮を行っています。	LR2 資源・マテリアル 住戸部において節水型器具の採用する等、水資源に対する配慮を行いました。	LR3 敷地外環境 住宅性能評価省エネ対策等級「4」取得(予定)や、各住戸ディスプレイの採用等環境への配慮を行いました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0027

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	ネオライフ樟葉マンション建替え事業					
	建設地	大阪府枚方市樋之上町3978-1、3938-6					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		